

令和8年度加害個体捕獲技術の実証・普及業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和8年7月1日（水） 10時00分から11時00分まで
2	場 所	Zoom 利用による Web 会議形式
3	出席委員	農林水産局農水産振興担当部長 環境県民局自然環境課長 農林水産局農業生産課長 農林水産局農業技術課長 農林水産局林業課林業経営・技術指導担当監
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	農林水産局農業生産課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（選定提案者：◎） A社：野生動物管理技術高度化コンソーシアム ◎</p> <p>2 委員の主な評価・選定理由 【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害捕獲の理想像が良く描かれており、現実実態を詳細に把握した提案である。 ・課題認識と目指す姿を理解し、実現に向けた取組手順も良い。 ・若手の技術監修者による取組となっており、今後の若手の育成に期待ができる。 ・本事業を実施する上での体制は用意されていると認められる。 ・市町捕獲計画の策定に関する課題等を深堀・分析して進めていただきたい。 ・モデル地区の選定に当たっては、効果が見込まれる箇所を適切に選定できるよう、候補地の抽出から絞り込みまでの手順を明確化した上で実施することを要望する。 ・捕獲の実施時期については、最適な時期での実施をお願いしたい。 ・実施スケジュールは前倒しで進めていただきたい。